



令和5年2月10日 第4回学校運営協議会が開催されました

第一部 後期学校評価について (金沢主幹教諭)

第3回会議で説明された学校評価の結果と、市教委に提出した評価シートを参考に質問・意見交換が行われました。来年度に向けて学校の課題に向き合って考える機会になりました。

課題

学校の宿題はしっかり出来るがその後の自主学習の時間が短く、新潟市の基準値に達しない。

学習について

家庭学習時間の数字に現れるものだけが、全てではない

家庭学習のやり方がわからない生徒もいるのでは

来年度に向けて

授業を中心とした学習の充実に加え、自主学習の質と量を吟味。支援の必要な生徒への働きかけ深い学びの実現を目指す。

プロジェクト（小中連携）での取り組みも大事



課題

自分の良さに気づけない、自信のない生徒が多い。

自立を促す生徒指導

学校が楽しいという生徒が多い一方で、そうではない生徒への対応がより必要となるのでは

自分の将来像を考えるアプローチが必要なのは

来年度に向けて

仲間や教員、保護者から認められる機会の積極的な設定、成功体験の積み重ねで、生徒の自信や意欲を向上させる。

課題

特別支援に関する研修不足。

特別支援教育

地域として、一中の校区内の支援施設「ほっとサポートしんえい」についても話す機会があれば...と思う

来年度に向けて

インクルーシブ教育（※）の理解促進のために、長期休暇に職員研修を実施する。

（※）障がいのある人とない人が共に学べる仕組み

課題

地域とのコミュニケーションを深め、地域課題の解決に主体的に取り組める生徒の育成が求められている。

社会に開かれた教育課程

地域貢献・社会貢献に関連する内容は、第二部に引き続き（裏面を続けて参照ください）



来年度に向けて

学校行事や総合的な学習の時間での体験学習、社会貢献を通して地域に貢献する

今年度は3年ぶりに職場体験学習を実施しました

第二部 令和4年度地域と学校パートナーシップ事業推進会議

今年度の地域と学校パートナーシップ事業の活動を振り返り、成果と課題を報告。CS委員の皆さんと事業にかかわっていただいている地域の皆さんと一緒に『地域そうがかりでの学校づくり』を共に考えました。

活動概要説明からの成果と課題 (山田 地域連携担当教諭)

成果

- ・一中の特色的な活動の稲作体験活動の継続
- ・地域活性化イベントの参加
- ・中学生の視点で農産物をPRする作品の制作

課題

- ・地域貢献活動としてのパートナーシップ事業の特色が弱い。話し合いを通じて地域のニーズに応える貢献活動を目指す。

コーディネーターより

- ・職場体験学習は子供たちのキャリア教育として、将来を考えるきっかけになる総合学習になるように先生たちのフォローができれば
- ・地域貢献については、もっと子供たちと絡んで（生徒会などと）考えたい

- ・おれんじ通信は写真の見易さを優先して台紙を白に変更。できれば印刷してあるQRコードからカラーで見たい。



推進会議に参加して下さった地域の皆様

本望新津第一中学校同窓会会長・中村中央コミュニティ協議会会長・蓮沼西部コミュニティ協議会会長・吉川中央地区民生児童委員協議会会長・佐藤西部地区民生委員児童委員協議会会長・若月新津青年会議所理事長・秋葉区社会福祉協会加藤様

一中の前庭を花いっぱい！
新潟市一番の学校花壇！

コミ協をはじめ地域の皆さんと生徒と一緒にグリーンボランティア作業をする。

支援学級の子もたちと一緒にグリーンボランティア作業は楽しいのでこれからも続けてほしい



意見・要望など



SLのPRに中学生もかかわってほしい



一中のマスコットキャラクター「C57ぼっぼと一中太郎」平成30年に校内コンテストで決まりました

職場体験の受け入れをしたが、最初はおとなしかった子どもたちが、最後には社協の仕事に興味を持って体験をまとめていた

コロナで中断している挨拶活動を再開してほしい。

コロナ前には年に2回、一小、三小に朝の挨拶活動を実施していました。



学校運営協議会を設置して1年目。学校と保護者、地域の皆さんが協働しながら子供たちの豊かな成長を支える一歩を踏み出せたのではないのでしょうか。来年度もたくさん話をして課題解決に繋げていきましょう